



第 78 号

発行所

岡山県子ども会連合会

広報部

700-0807 岡山市北区南方 2-13-1

岡山県福祉・ボランティア・NPO 会館

<http://www.kodomo-kai.or.jp/okayama/>

TEL (086) 226 - 1261

FAX (086) 226 - 1303

発行 平成 28 年 2 月



平成 28 年度を迎えるにあたって

― 新たな県子連活動の胎動 ―

岡山県子ども会連合会 会長 赤澤 正基

岡山県子連子ども会育成活動では、皆様方には平素より多大なご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、岡山県子連創立 50 周年から 1 年が経ち、いよいよ正念場を迎え始める年となりました。

ところで、今さら子ども会の意義・使命・目的等については申し上げるまでもなく皆様ご承知のとおりですが、本県の避けて通れぬ喫緊の課題は加入率の向上と事故発生件数の減少に向けての取り組みであります。

世間一般では多くの方々から子ども会の必要性・重要性やかつての活発であった頃の子ども会を承知されてはいますが、今や子どもたちを取り巻く社会の状況は急激な地域連携の希薄化・ライフスタイルの変化と値観の多様化や超少子高齢化・過疎化・就労形態の変容等々で大きく変貌し、子ども会育成活動・子ども会活動は非常に難しい時期に直面しています。これは

単に子ども会における状況だけでなく、他の異種団体においても同様のことが指摘されています。

私たちはただ単にこれらの状況下に領いて、手をこまねいていてだけでは何の課題解決にはなりません。岡山県子連そして末端の単位子ども会に至る最大の課題である加入率の向上にむけては、魅力ある楽しい子ども会を目指してお互いに知恵を出しあい汗をかきながら、地道な日々の積み重ねの活動ではないでしょうか。また事故発生件数の減少に向けては、楽しい子ども会活動が事故に見舞われることのないように今一度「子ども会 KYT」の徹底に取り組んでいきましよう。

岡山県子連では今後ともこれらの課題解決にむけて懸命に取り組んで参りますので、今一度、子ども会の果たす役割・重要性を再認識していただき、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第 44 回岡山県子ども大会 (表彰式) 平成 27 年度定期総会 開催

平成 27 年 6 月 21 日きらめきプラザに於いて、

県青少年育成県民会議会長

門野 八洲雄 様

県生涯学習課課長

中本 正行 様

県生涯学習課

佐野 俊貴 様

県議会議員 (県子連参与)

蓮岡 靖之 様

の御来賓をお迎えして、第 44 回 (平成 27 年度) 子ども大会 (表彰式)・定期総会が開催されました。赤澤会長の挨拶の後、長年の活動を讃えて団体・個人のみなさんに表彰状が授与されました。



岡山県子ども会連合会会長

(社)岡山県青少年育成県民会議会長

子ども会

宮地子ども会

(笠岡市)

新山第 5 支部なかよし少年団

(〃)

位田親師会

(美作市)



岡山県教育委員会教育長感謝状

子ども会育成指導者

田中 勇治 (倉敷市)

岡山県子ども会連合会会長感謝状

子ども会育成指導者

脇本 好雄 (倉敷市)

安原 茂樹 (〃)

高橋 康博 (〃)

守本 輝美 (笠岡市)

小林 好里子 (〃)

安藤 彰英 (津山市)

近藤 昌 (〃)

ジュニアリーダー

高橋 にいな (倉敷市)

安藤 聡志 (津山市)

中村 拓志 (〃)

杉山 春樹 (〃)



(福)山陽新聞社会事業団表彰

子ども会

本所子ども会

(倉敷市)

ベルタウン子ども会

(〃)

子ども会育成指導者

武井 真一 (倉敷市)

河原 素 (〃)

西山 嘉斐 (〃)

出射 啓代 (玉野市)

多曾田 愛里 (〃)



表彰の後、総会が行われ26年度の事業結果及び決算などの報告があり、27年度の事業計画予算及び規約の一部改正が決定されました。

日時	行事名	開催地
4月17日(金)	全子連事務担当者会議	東京
4月24日(金)	県子連事務担当者会議	きらめきプラザ
5月14日(木)	中・四国事務担当者会議	国際交流センター
5月8日(金)	県子連理事会(第1回)	きらめきプラザ
5月28日(木)	全子連総会	東京
6月6日(土)	中・四国第1回理事会	きらめきプラザ
6月21日(日)	県子連定期総会	きらめきプラザ
7月4日(土)	県子連安全研修会	高梁・市民ホール
7月25日(土)~26日(土・日)	県子連ジュニアリーダー研修Ⅰ	笠岡・白石島
8月21日(金)~23日(金~日)	中・四国地区ジュニアリーダー大会	鳥取・大山
9月12日(土)~13日(土・日)	桃太郎ミステリー列車2015	福岡・山口
9月19日(土)~20日(土・日)	全子連ジュニアリーダー研修	東京
10月17日(土)~19日(土~月)	全子連育成研修中央会議	群馬・伊香保
10月25日(日)	県子連KYT登山	湯原町・櫃ヶ山
11月13日(金)	中・四国地区第2回理事会	ロイヤルホテル
11月14日(土)~15日(土・日)	第46回中・四国成研究大会	ロイヤルホテル
11月29日(日)	県子ども大会	玉野・渋川
11月29日(日)	県子連ジュニアリーダー研修Ⅱ	玉野・渋川
12月5日(土)	中・四国地区KYT講習(初級)	きらめきプラザ
12月11日(土)	県子連理事会(第2回)	きらめきプラザ

桃太郎ミステリー列車 2015

～スペースワールドと下関子ども会との交流会～

平成25年に復活して3回目になる(第18回)ミステリー列車が今年も県内77名の子ども達が参加のもと、26名のスタッフと共に、9月12～13日昨年は岡山より関西方面でしたが、今年には山陽本線を西へと団体専用列車を走らせました。



倉敷へ向かう車内まだまだ不安顔



岡山で簡単に出発式



笠岡を出発していよいよ役員の打ち合わせ



いよいよシニアリーダーにより車内レクの始まり



友達とも意気投合



まず一両目はマンカラ





すっかり友達とも馴染みました。



次の車両では宝探し



普通列車であと一時間ほどですが
やや疲れも...



下関で乗り換え。団体列車とはここ
まで。



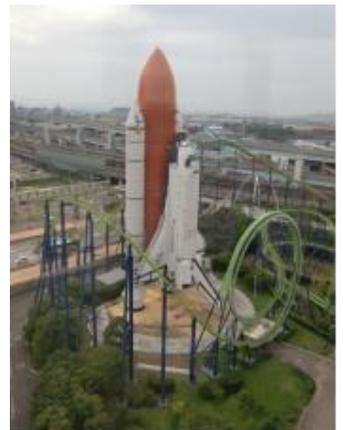
スペースロッジにて説明を聞いて
18時まで園内フリータイム。



しかし14時30分
スペースワールド駅に！



楽しい夕食



食事の後は、シニアリーダーによるゲーム、マンカラ大会。



集合写真



翌、9月13日朝食



小雨の中、関門橋を渡る



スペースワールド出発

下関子ども会との交流会

下関市子連の皆様方や子ども
たちには大変お世話になり、
楽しい一時を過ごせました。



下関駅より再び団体列車





シニアリーダーによる
バルーンアート



やはり今年も居ました。撮り鉄。



倉敷に到着。



あっち向いてホイ



帰りの列車の中も元気です。



家族の迎え



そして岡山着。

大変お疲れ様でした。ここに、参加してくれた友達、そしてご家族の感想文を紹介しします。

ミステリー列車ツアーに参加して

美作北小学校 4年 岡 晃瑠

最初ぼくは、ツアーの話聞いた時、行ってみたいけど、お金も高いし、運動会の一週間前だし、むりだろうと思っていました。ところが、行ってみたいなら行ってもいいよとお父さんが言ってくれたので、応ぼすることにしました。まわりの友達にも声をかけてみたけど、いきよく行くのはぼくだけで、出発までとても不安だらけでした。

当日の朝、早起きして、駅に向かう間も、一人で知らない人の中で、楽しくできるかなとばかり考えていました。でも駅につくとスタッフの人がとても明るく声をかけてくれました。列はずつ不安もなくなっていました。列車の中では、いままでしたことのないウノやマンカラと言うゲームをしてすごく楽しかったです。一番不安だった友達もとなりの小学校から、参加していた同い年の友達と仲良くできてうれしかったです。

夜になって、ねる時には、家族の事を考えたりしてさみしくなったりしましたが、いつのまにかねていて、大じょうぶでした。

ぼくにとってはじめてのツアーでも動も多くてつかれましたが、来年もしあれば、また参加したいと思いました。スタッフのみなさんありがとうございました。

ミステリーツアーに参加させて頂いて

岡 利彦(岡 晃瑠 父親)

我が家では父親の私と息子、二人だけの男性。私たちは自他共に認める大の仲良しで、みんなからは、「いつも二人で一緒じゃなあ」と言われています。二人だけの男旅が大好きで、登山やスキー、釣りなどを時間があれば二人で楽しんで来ました。その息子も今年で小学四年生、どこに行くにも必ず付いてきていたのに、最近では、「エエわ」と断り、友だちとの約束を優先することが増えて来ました。少しずつ、『親離れ』してきているのかと、半分たくましく感じ、半分さみしく思うようになってきました。そんな時、息子がもらってきた『ミステリーツアー』のチラシを一緒に見ながら、試しに、

「行ってみるか？」と反応をうかがったところ、「言ってみようかなあ」とまんざらではない反応。楽しみ半分、不安半分といったところでした。その後も幾度か同じ質問をしているうちに、息子の中で不安よりも楽しみの方が徐々に増えていくのが分かりました。これまで親の元を離れ、一人で外泊などさせたことが無かったので、父親の私も息子同様に不安もありましたが、経験豊富なスタッフの皆さんが引率・指導して下さることの安心もあり、『息子が成長できるチャンス』であると考え、また、自分自身の成長にもつながるのではないかと捉え、おもいきって応募させて頂きました。

普段から自分の身の回りのことさえ、家族が手を出さないと何もできない息子が、はたして皆さんに迷惑を掛けず一泊二日のツアーを無事に終えることができるのか？気の小さな息子が友だちをつくって一緒に楽しむことができるのか？応募してから出発の日の朝まで考えていました。

ところが、当日の朝、受付を済ませ、出発を待つまでの僅かな間に、スタッフの方々が色々と気を遣って下さり、近隣で同学年のお子さんに声を掛けて頂き、あつと言う間に仲良くなれた

友だちもできました。同時に私にも、「お父さん、何も心配いらんよ。みんなすぐに仲良くなって楽しんでくれるから」と。本当にこれで安心して息子を見送ることができました。

見送りを済ませ、自宅に帰ってから、家族みんな、「今頃、どこらへんを電車で走ってるんだらうか？」、「ちゃんとスタッフの言うことを聞いているだらうか？」と息子の話題ばかりの一日でした。

翌日、迎えのため岡山駅に行きましたが、予定通りツアーの日程を終え、改札から出てきた息子は、まだまだ友だちとの交流が楽しくて楽しくてたまらない様子で、疲れた表情など見せず満面の笑みで帰って来ました。

帰りの車の中でも、電車でのこと、行楽施設でのこと、交流会でのことなど、ツアーでの様子を楽しそうに色々聞かせてくれました。ツアーでできた友だちとも、「来年もまた一緒にっこう！」と約束したそうです。

息子は自己中心的な性格で、相手に気など遣えるような性格ではなかったのですが、ツアーから帰ってきてからは、姉や妹に対して優しい気遣いが見られるようになりました。また、少しは自分の身の回りの事は自分で考

え、行動ができるようになったと感じました。これも親の元を離れ、一泊二日のツアーに参加させて頂いたからこそ得られた成長だったと思います。今回のツアーでは息子のみならず、両親共々、とても貴重で大切な経験をさせて頂きました。道中、色々ご迷惑をお掛けしたと思いますが、このような機会を設けて頂き、『成長の場』を与えて下さったスタッフの皆様から感謝申し上げます。

桃太ろうミステリー列車にいつて

美作第一小学校 4年 小坂田 侑真

始めは、お母さんに「行ってみたら。」と勧められました。

最初は、不安だったけど楽しそうだったから行く決めました。

岡山駅に着くと美作市の人がいると聞いて、ほっとしました。電車に乗って、出発すると、友だちと、話しました。

電車の中で、マンカラというゲームをしました。とても楽しかったです。

スペースワールドに着くと友だちと、色々なところに行きました。家族に、お土産を買いました。

一日目が終わって二日目来ると、交

流会に行きました。玉入れと、自転車レースで遊びました。帰りも電車でした。岡山駅は、最後でした。

みんなに、手をふって、「バイバイ。」と言って岡山駅までまわりました。

岡山駅につくと、みんなに、「さようなら。」と言って、家にかえりました。来年もいきたいです。

桃太ろうミステリー列車に行つて

美作第一小学校 4年 小坂田 誠也

始めは、お母さんが「桃太ろうミステリー列車という旅行があるけど行ってみる。」と言ったので、行ってみることにしました。

最初は、不安だったけど、行ってみようと思えました。電車に乗るのは、初めてでした。電車に乗った時、すぐに友達ができました。とても楽しかったです。

来年もいつて、楽しい思い出をつくり、また新しい友達をつくりたいです。

小坂田 喜志子

(小坂田 侑真・誠也 母親)

今年、初めて参加させて頂きました。6年生の長男に、小学校最後の

思い出になればと、チャレンジしてほしくてすすめたところ、4年生の弟達も参加したいということになりました。

スポ少に入っているため、家族で旅行に行ったこともなく、4年生の弟達は、電車に乗るのも初めてでした。

普段から、こちらも、つい口や手を出してしまう事が多く、子供達には困った経験もしてほしいという思いもありました。

笑顔で出発していき、帰ってきた子供達の顔を見て、少し疲れてはいましたが、とても楽しかったんだなあと感じました。

男の子なので、細かい事は話させませんが、友達がたくさん出来た事、宿泊先での事、おもしろかった事など話してくれました。

集合時間に間に合うように考えて行動したり、家ではなかなか見られない姿もあつたようで、子供達それぞれの成長を感じました。

4年生の弟達は、「来年もまた行きたい」と言っています。また機会があれば、ぜひ参加させたいと思っています。

初めてミステリー列車へ参加して

総社東小学校 6年 秋山 珠瑛

私は、今年初めてミステリー列車に参加させて頂きました。きっかけは、子供会からもらった応募用紙でした。

ある日、お母さんが、「桃太郎ミステリー列車っていうのがあるんだけど、親なしで九州まで遊びに行けるんだって。」と、教えてくれました。それを聞いた私は、親なしで九州に遊びに行けるなんて、すごく楽しそうだなあと思つて、友達と一緒に応募しました。

結果がきたときに、当選したと知つて、飛び上がるほど嬉しかったです。ミステリー列車当日、倉敷駅についたときワクワクした気持ちと、知らない人と接する不安がありました。でも電車はほとんど初めてで、とても楽しかったです。

電車に乗り、班ごとですわつたとき、初めは、うまく話せるか不安だったけど、同じ班の人はみんな明るくて、とても楽しかったです。マンカラをするときもみんなニコニコしながらできました。

スペースワールドでは、友達と私の

三人でまわりました。ジェットコースターがあつて、とても楽しかったです。マンカラ大会をしたあと、マンカラの練習をしているとき、友達と何回やっても負けませんでした。

山口のひととの交流会で行われた玉入れでは三位で、レースでは二位でした。

第46回中国・四国地区子ども会

育成研究協議会(岡山市大会)

「かかわり合う子ども会く人とのかわり合いを大切に」をテーマとして11月14日・15日に岡山ロイヤルホテルにて開催されました。

濱家 輝雄氏による「ことばの力」が絆を創る!と題して記念講演がありました。



帰りの電車では、トランプをしたり、写真をとったりして、とても楽しかったです。

私にとって、最高の二日間でした。

表彰

個人(配偶者)

配偶者に感謝状の贈呈

吉田 清二(智恵子)

樋口 陽子(柳治)

団体

育成会に感謝状の贈呈

長尾学区子ども会育成会



おめでとーございます。

第44回 岡山県子ども大会開催!!

昨年の倉敷市子連よりバトンタッチした玉野市子ども会連合会が主管となり第44回県子ども大会が11月29日(日) 渋川海岸及び渋川青年の家体育館で開催されました。



市内を中心に倉敷・高梁・赤磐などの小学1〜6年生と保護者、役員ら約120名が参加しました。

ビーチサッカーは同海岸で行われ、県ビーチサッカー協会メンバーの指導で、まず砂浜の清掃から始まり、パスやシュートの基本を学んだあと、低学年に分かれて5人制で試合を行いました。



子ども達は砂に足を取られながらも元氣いっぱいにはピッチを走り回り、思い切りシュート！保護者たちは「ボール取りに行つて」「もっと散らばらないと」などと大きな声で指示や激励をしていました。



その後、県渋川青年の家では市レクリエーション協会メンバーの手ほどきで、紙飛行機を製作し、シニアリーダーの指導の下、飛距離や滞空時間を競いました。



ここで、赤磐市城南小学校1年生の石黒悠太君の感想文を紹介します。11月29日に玉の市のしづ川かいがんにいってきました。

おじいちゃんにつれていってもら

ったよ。そこで、くつをぬいでビーチサッカーをしました。しらない人がいっぱいいてきんちようしました。足をけられていたかったです。でも、ともだちができてうれしかったです。

つぎに、おべんとうをたべたあとにかみひこうきをつくりました。どこまでとべるかはかりました。

5メートル49センチとびました。とおくまでとんだのしかったです。またさんかしたいです。

編集後記

お待たせしました。やっと78号が完成しました。実はパソコンの故障で約2ヶ月遅れの発行になりました。岡山大会では、県子連加入が4単位子ども会である玉野市子ども会連合会の小林英機・岩本浩美理事はじめ役員の皆様のおかげです。大変ご苦労さまでした。

第45回子ども大会の開催地区の方、よろしくお願いします。どこかな？楽しみにです。

追伸

広報部

平成27年度KYT登山が3月6日(日)に変更になりました。詳しくはホームページで!!